

福井ふるさと学びの森 若狭エリア 第3回体験イベント

「虫と森の不思議な関係」

- 1 日 時 平成28年8月7日（日）9：00～12：00
- 2 場 所 福井ふるさと学びの森（若狭町気山）
- 3 参加者 小学生親子35名
- 4 講師 萩原 茂男さん（ふるさと研究員）
- 5 内 容

（1）虫のお話

講師の萩原さんは地球上にどのくらいの種類の昆虫が生息しているのか哺乳類、爬虫類、魚類といった他の生き物と比較しながら説明しました。



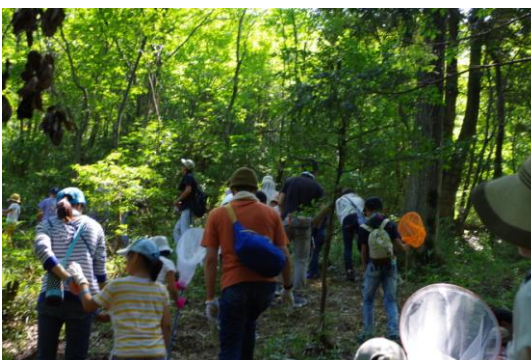
（2）ネイチャーゲーム（宝探し）

道の脇に大小、形、色がさまざまな物を置き、歩きながらどのくらいの数を発見できるかというゲームを行いました。このゲームから虫がどのように外敵から身を守っているのか、虫を探ることがどれほど大変かということ学びます。置いてあるものすべてを見つけることはなかなか難しく、参加者は目を凝らし、集中して探していました。



（3）山散策

山の中を歩き、虫を探索しました。暑い中でしたが、子供たちは石や枯れ木をめくり、元気に虫を探しました。セミ、クワガタ、カマキリ、バッタなど多くの虫を見つけることができました。



(4) 森の整備（笹刈り）

まず、萩原さんは森を整備することで里山の景観と生物多様性を維持することができるといった、なぜ里山で森の整備が必要なのかということの説明をしました。次に笹刈りをした後の状態を参加者に見せ、笹を刈ることにより光が入り、色々な植物が生えてくることを紹介しました。

実際の笹刈りでは、初めて鎌を持つ子供も親子で力を合わせて、楽しみながら笹を刈っていました。今後、学びの広場がどのような植生になるのかとても楽しみです。



<参加者の声>

- ・ 笹刈り、虫を探すのが楽しかった。
- ・ 森・生き物に親しむきっかけとなり、良かった。
- ・ 里山が身近に感じられ、その重要性も学べた。
- ・ 里山をより良くすることに協力したい。